



# こもれび新聞



心臓病の

ハートフル な話



近年ワンちゃんやネコちゃんの高齢化に伴い、心臓病も増えてきています。

心臓病の初期は症状が出ないことも多く、見た目にはわかりにくいことも多いです。症状としては以下のようなものがあります。

- ・ 疲れやすくなる
- ・ 咳をする
- ・ 急に倒れる（失神）
- ・ じっとしてあまり動かない
- ・ お腹が膨れてくる（腹水）
- ・ 呼吸が速い



しかし心臓病の初期には症状が見られない場合も多く、症状が出てきた頃には重症化していることも多いため、検査で早期発見をすることが大切です。

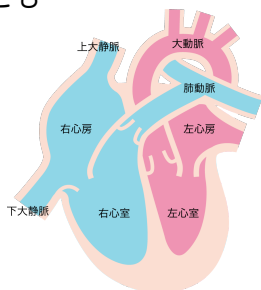
心臓の検査には聴診、超音波（エコー）検査、レントゲン検査、血液検査、血圧測定、心電図検査などがあります。特に心臓エコー検査は心臓の状態を知るために最も重要な検査です。



## ワンちゃん的心臓病

ワンちゃん的心臓病のうち最も多いのが『僧帽弁閉鎖不全症』です。これは左心房と左心室の間の『僧帽弁』が変形して血液の逆流が起こる病気です。ほとんどの場合、心雑音が出てくるので聴診をすることで気づくことができます。初期はほとんど症状はありませんが、病状が進行してくると呼吸が苦しくなったり、肺に水が溜まったり（肺水腫）、突然死することがある怖い病気なので、出来るだけ早く治療を始めることが重要です。状態により治療法は異なりますが、お薬を飲んだり、場合によっては手術で変形してしまった弁を直すこともあります。

ワンちゃんの中でも特にシニアの小型犬、チワワ、マルチーズ、シーズー、またキャバリアなどの犬種に多くみられる病気です。



## ネコちゃん的心臓病

ネコちゃん的心臓病で多いのが『心筋症』です。心筋に異常が起こることで心臓のポンプ機能が低下し、全身の循環が悪くなる病気です。心雑音が出ないことも多いので、症状が出るまで気づかれないこともよくあります。心筋症の症状で怖いのが『血栓症』で、体の中で血栓（血液の塊）ができてそれが大きな血管の分岐部、特に後ろ足の根元の血管に詰まることでその先に血流が行かなくなり足が動かなくなることがあります。症状としては、急に鳴いて足を引きずるなどが多く、足のケガだと思われる方が多いです。血栓が詰まってから長い時間が経つと足が壊死してしまい元に戻らなくなるため、早めに治療をする必要があります。

心筋症はどの年齢でも起こります。猫種は洋猫、メインクーン、アメリカンショートヘア、スコティッシュフォールド、ラグドールなどで多くみられます。



うんちを  
チェックしよう！

おうちのワンちゃん、ネコちゃんは毎日良いうんちをしていますか？うんちを見ることでその子の健康状態を知ることができます。



☆うんちがゆるい（軟便、下痢）

便がゆるくなる原因として、食事の問題（消化が悪い、フードが合わない、食べ過ぎなど）、中毒、アレルギー、ストレス、感染症などがあります。また、膵炎など内臓の疾患、腫瘍など重大な病気が隠れていることもあるので、詳しい検査が必要になることもあります。

☆うんちが固い、出づらい（便秘）

便が固くなる原因として、食事や水分量の問題、消化管の問題（腸閉塞、巨大結腸症など）、脱水などがあります。会陰ヘルニア、消化管内の腫瘍などでも便秘が起こります。便を出やすくするフードに変えたり、お薬を使ったりします。



うんちがいつもと違ったら…

まずは便検査をおこないますので便をお持ちになってご来院ください。なるべく新鮮な便（半日以内の便）をお持ちいただくと正確な診断ができます。量は小指の先ほどあれば検査が実施できますので、ビニール袋などに入れてお持ちください。



トリミング

やっています！



月・火・土曜日に実施しています。

お電話 046-206-4539 もしくはトリミング専用LINEにてご予約を承っております☆

トリミングLINEのお友だち登録はこちらから！



Instagram



シニア、持病があるワンちゃんも一度ご相談ください。診察の上、可能な限り対応いたします☆



※ 公式LINEアカウント ※

お知らせやお得なクーポンを配信しています♪  
フード注文、トリミング予約もできます！  
下記のQRコードを読み込んでいただくか、LINEで『こもれびペットクリニック』と検索してください。



おともだち登録  
お願いします。



〒243-0410  
海老名市杉久保北4-3-11  
046-206-4539

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00   12:00	🐾	🐾	🐾	🏠	🐾	🐾	🐾
16:00   19:00	🐾	🐾	🐾	🏠	🐾	🐾	🏠

🐾 …8:00-13:00